

「諸行無常」の精神で改革を

北國新聞に60年目の決意広告

夕刊に「金沢学院物語」の連載も



5月15日付の北國新聞に掲載された2ページ見開き広告

学校法人金沢学院は創立五十九周年にあたる五月十五日付の北國新聞・富山新聞に、二ページ見開きの広告を掲載しました。六十年目のスタートにあたって「諸行無常」の精神で改革に教職員一体で当たることをアピールしました。

「世の中に常に同じものはない」という意味の「諸行無常」は、飛田秀一理事長が今年三月、卒業生、修了生に「さまざまな変化に対応するため自分自身を変えていかなければならない」との励ましを込めてはなむけに贈った言葉です。

この精神を来年の六十周年に向けた学園改革の柱に据え、大学院、大学、短大、

教育的愛情、責任感、使命感を

山岸県教育長 教員目指す学生指導



講話する山岸教育長

石川県教委の山岸勇教育長は五月二十日、金沢学院大学で教育実習指導講話を行い、新しい時代に求められる教師像として「教育的な愛情、責任感、使命感、実践力に加え、何より明るく多感な人間であってほし

い」と述べました。山岸教育長は、ゆとり教育と総合的学習の時間の良否、学校間の競争や習熟度別授業などを盛り込んだ石川の学校教育振興ビジョンなども説明しました。教員採用試験については、水泳実技を導入する目的、模擬授業のポイントなどにも触れて、教員を目指す学生を激励しました。

東高校の諸課題、諸改革に取り組んでいく決意を集約した広告になっています。

また十六日付北國新聞夕刊（富山新聞は十七日付朝刊）から「金沢学院60年物語」を十二回にわたって連載し、学園の改革の歩みと新たな取り組みを紹介しました。

金沢東、ベスト8目前で惜敗

春の北信越高校野球県大会

金沢学院東高校は五月三日、北信越高校野球石川県大会の3回戦で金沢桜丘と対戦しましたが、5対6で一步及ばず、惜しくもベスト8進出を逃しました。

この対戦では、先取点を入れた金沢東が終始攻勢でしたが、9回表に4点をリードされました。9回裏に



対金沢二水戦でサヨナラ打を放った仙波 = 4月30日、県立球場

仙波が本塁打を放って1点差とし、なお二死二、三塁と桜丘を追い詰めましたが、あと一本の決勝打が出ませんでした。金沢東は1回戦で金沢伏見に12対0で五回コールド勝ち、2回戦は金沢二水に5対4でサヨナラ勝ちをおさめました。

金沢学院大4位

大学野球春のリーグ

北陸大学野球春のリーグ戦一部は五月二十二日、全日程を終了し、金沢学院大学は4勝6敗で4位でした。優勝した福井工大と高岡法科大、富山国際大にいずれも2連敗しました。

四月九日の開会式では新しくリーグ会長となった石田寛人金沢学院大学長が挨拶し、始球式を行いました。



衝突のショックに悲鳴 シートベルト着用衝撃体験

学生に安全運転を訴えるキャンペーン「シートベルト着用衝撃体験」は五月十一日、第一体育館前で中央自動車学校の協力で行われました。学生ら百八十人が時速五十キロで壁にぶつかる際の衝撃度を体験しました。写真。ぶつかる度に悲鳴が上がリ、ベルトの大切さを改めて認識しました。

悪質商法防御の知識

金沢学院短期大学のプレゼミナール「悪質商法の被害者・加害者にならないために」は四月二十六日、講堂で行われました。県消費生活支援センターの今村良栄所長が、キャッチセールスやマルチ商法、携帯電話の架空請求などの手口を解説し、注意を促しました。



開会式で挨拶する石田学長 = 県立球場

発行・広報室